

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 75 号 2018 年秋号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353



会長の挨拶



もち米炊き上げ中



餅つき奮闘です



楽しく歓談中



女性陣の団子作り



市民の参加

収穫祭開催!

11月3日(土)祝日 9:00～14:00 気温 20℃
爽やかな秋晴れの中、本年最大イベントの収穫祭は会員及び家族、名戸ヶ谷小学校校長、柏市環境政策課 2名の来賓、市民と児童計8名と合計35名の多くの方に参加して頂き、楽しく無事に執り行う事が出来ました。事前準備から始まり、幹事及び会員皆様のご支援、ご協力に改めて感謝致します。

篠崎会長の挨拶から始まり、お互いの楽しい歓談とふれあい、特に女性陣での搗き餅の

団子、おにぎり、豚汁料理等は多大のご苦勞で美味しく頂きました。

5月の田植えから始まり、草取り、稲刈り、脱穀と汗水かきながらの苦勞を思い起こして、新米の味を十分かみしめた事と思います。子供達も餅つき体験は良い思い出でしょう。

あっという間に時間が過ぎ、最後は長谷川さんの詩吟で締めくくり、小笠原副会長の閉会挨拶で散会となりました。実行委員長を代表して御礼申し上げます。(藤平 三郎)

収穫の季節 稲刈りでーす

8月25日に、はざ掛け用のパイプ棚を組み立て、9月8日、9日に今年の稲刈りが始まりました。市民の参加もありましたが、コナギが密生していて稲穂が軽い感じでした。

16日に名戸小の稲刈り準備も兼ねて、もち田2番を刈り取りました。19日は名戸小5・6年生の90人が稲刈りに挑戦しましたが、人数が多く統制不能になりました。木道の上に山になった刈り取り稲を片付け終わったときは日が暮れ始めていました。

超強風の台風ではざ 掛けが倒壊しましたが、 作り直して無事脱穀に 繋がりました

9月30日の台風で中央木道沿いのはざ掛けが倒壊しました。翌日に稲は田んぼから引き上げましたが、杭が折れていてはざ掛けを作業小屋広場に移設しました。今年もはざ掛けした稲にネットをかけましたが、スズメさんは隙間から入っていっぱい食べていたようです。



会員とゲスト参加者の稲刈りです



束ねるのも大変です



稲刈りの説明は真剣に聞いています



刈る人、運ぶ人、はざがけに掛ける人
始めると統制不能に。でも楽しいです



中央木道沿いが台風で倒壊しました

脱穀作業は5年生が 頑張りました

10月20日、21日に会の脱穀作業（もち米とうるち米）を足踏み脱穀機とエンジン脱穀機で済ませ、22日の名戸小の脱穀は足踏み脱穀機を使って作業を始めました。唐箕での選別も難しいですが、昔ながらの作業を体験しました。稲刈りと同様に去年も経験しているのでみんなで協力して作業がうまく進みました。最後にはエンジン脱穀機にも挑戦しました。昼前に終了し、藤心ライスセンターに粃摺り、精米をお願いしました。収穫祭にも間に合い、美味しい新米の餅やおにぎりになりました。

（小笠原 智）



唐箕での最終選別作業。手回しも難しいです



足踏み脱穀機も



今年もエンジン脱穀機が活躍しました



体験者の親子は足踏み脱穀機にも挑戦

今年の田んぼ作業もはざ掛けパイプの解体と藁の散布で無事終了しました ご協力ありがとうございました



はざ掛けにネットを掛けてスズメ対策



秋の夕日に照らされたビオトープの田んぼ

名戸ヶ谷小学校ふれあいの集い

11月17日(土) 9:30～14:50 晴れ 気温 20℃
朝から晴れ渡り 11月とは思えない暖かさの中、「ふれあいの集い」が開催されビオトープ会員 12名が協力支援をしました。事前準備でビオトープから臼、杵と、かまど、釜、セイロ各2セットもち米 36キロを名戸ヶ谷小へ搬入しました。

昨年の反省で炊きあげの遅れから、今年のかまど、釜、セイロを各8セット用意し、タイムスケジュールに従ってほぼ無事に進める事ができました。

一方、餅つきの方は、小笠原さん、久米さん、柳沢さんが中心となり手を添えての指導で合

計 12回搗き、児童たちも良い体験となたことでしょう。出来た餅は PTA の方々があんこもち、黄な粉もちにし、子供たちはビオトープ餅を美味しくほおばっていました。

2階の教室ではしめ飾りの製作を影山さん、藺田さん、堀尾さん、他 PTA が担当し丁寧に児童たちに教えて完成させた時の児童の喜びは大きいものでした。

そして最終第3回目のもち搗きが午後2時20分で終えてからは後片付をしました。

笹間校長、竹森教頭から本日のお礼挨拶があつて無事に終えました。皆さん大変有難うございました。(藤平 三郎)



かまどで炊き上げ中



父兄の餅つき



児童の餅つき体験



児童の餅つき体験



しめ飾りの指導中



しめ飾りは難しい!

秋の生きもの観察会

9月29日(土) 9:30～10:30 曇り 気温 21℃

朝から小雨まじりで降ったりやんだり、幸いに観察会の時間帯は止んでいました。終盤になってから降り始めて早めに終えました。そんな天候でも参加者は父兄2名、児童7名、会員4名の計13名でした。児童は何れも名戸ヶ谷小で事前に案内もしてありそのPR効果と思います。

児童たちは捕獲網とバケツを持ちAゾーン、Bゾーンのザリガニ釣り場、三角池、又木村

家跡地の広場で昆虫を捕まえていました。天気が悪くトンボ、蝶などはあまり飛んでいませんでした。小笠原さんの捕獲したニホンアカガエルには見入っていました。篠崎会長から捕獲した生きもの、最重要保護種や外来種などの説明を熱心に聞き、又写真集などの各種資料を全員に配りました。最後に捕獲した生きものを元へ放ち、短い時間でしたが生きものに触れての楽しいひとときであったと思います。(藤平 三郎)



ザリガニ釣り場で探す



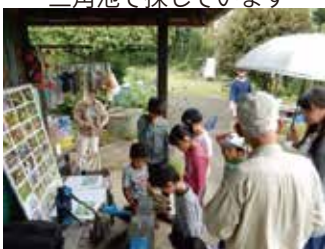
三角池で探しています



バッタを捕まえたぞ



ニホンアカガエル捕まえてびっくり



篠崎会長からの説明



質問も受けています

秋の生態系調査

10月10日(水) 9:30～10:50 晴れ 気温 26℃

篠崎会長、堀尾さん、高橋さん、そして藤平の計4名参加でした。晴れて夏日となり、特にアキアカネ、ナツアカネとチョウ類などが多く飛び交っていました。それぞれ捕獲網を持ちABゾーンを回って昆虫捕獲し、又カメラで撮ったものを篠崎さんの下で名前を調

べて約1時間半で調査を終えました。

教員の高橋さんは、児童教材用にと捕獲した昆虫類を容器に移して学校へ戻りました。確認できた個体種は44種です。会員の多くが参加して目をこらせば更に多くの生きものを確認できると思います。引き続き自然環境維持はされております。(藤平 三郎)



ツマグロヒョウモン



アキアカネ



名前を確認中

月例活動状況のお知らせ

今年の夏は過去に例を見ない猛暑日が続きました。そんな中、9月から10月までの会員各位の月例活動状況をお知らせします。

9月15日(土)

会員7名参加し、この日、前日より降った雨の合い間にBゾーンのつる豆の刈り取りを実施しました。



Bゾーンのつる豆の刈り取り風景



Bゾーンのミントとつる豆の除去風景

10月20日(土)

当日、脱穀作業の予定でしたが、朝方までの降雨のため中止となり、会員15名参加してA、Bゾーン各所のセイタカアワダチソウの刈り取り作業を実施しました。(藺田 廣満)



Aゾーンセイタカアワダチソウの刈り取り



Bゾーンのセイタカアワダチソウ、その他刈り取り

冬季行事予定

- 12月 ● 15日(土)：12月定例活動、大掃除
- 下旬：注連縄作り
- 1月 ● 19日(土)：1月定例活動
- 26日(土)：定期総会
- 2月 ● 16日(土)：2月定例活動

注) 詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

(2013年、年間を通じて観察した生きものの種類)